

クラウドサービスインフラを導入し、 新たな地域での市場でのビジネスを支援



Kathmandu

アウトドア用品の大手小売業者。オーストラリアとニュージーランド、英国に約140の店舗を構え、オンライン販売も拡大中。

URL
<http://www.kathmandu.co.uk/>

競争の激しい市場のアウトドア向け製品の大手小売業者であるKathmandu社は、新たな地域での市場における成長の促進をサポートするために、ディメンションデータのパブリックCompute-as-a-Service (CaaS) 提供による先進的なクラウドサービスインフラを採用。自社のコアアプリケーションに適切なデータストレージを提供し、将来のソリューションを迅速かつ容易に実施することが可能となるクラウドインフラ構築を実現した。

課題

- ・ 規模の拡大・縮小ができるプラットフォームを必要としていた
- ・ 市場の拡大には、プラットフォームにも世界規模のサポートが必要
- ・ 事業のリスクの低減に、実データのコピーを使用してテスト環境を短期間で低コストに立ち上げたい

解決

- ・ ITインフラまたは容量の制約について心配することなく、自社システムを拡大することができるようになった
- ・ ディメンションデータは世界7カ所のマネージドクラウドプラットフォームを利用可能
- ・ ディメンションデータのクラウドソリューションは、使用した分の容量に対して支払いが発生する形で、リードタイムも短い

豪・新・英で展開する アウトドア製品の大手小売業者

アウトドア製品における大手小売業者であるKathmandu社は、オーストラリアとニュージーランド、英国に約140の店舗を構え、Webサイトでのオンライン販売も拡大中だ。

Kathmandu社の社内チームは、週末だけ活動する探検家から経験豊富な冒険家まで幅広い顧客を対象として、高品質なウェアと装備のデザイン革新に奮闘している。毎年、クリスマス、イースター（復活祭）および冬期という3つの主要な販売促進時期における収益は、Kathmandu社の年間収益の大半を占めているという。加えて、売上高の半分以上は、Summit Club (Kathmandu社の会員制クラブ) の会員によるものだ。

Kathmandu社の事業構造は垂直統合的なものであり、すべての製品が社内でデザインされ、直営店舗およびオンラインでのみ販売されている。また、Kathmandu社製品はアジアを拠点に製造されている。

新たな市場拡大に対応した テクノロジープラットフォーム

Kathmandu社では、新たな地域での市場における

さらなる成長を望んでいた。具体的には、既存の地域における店舗数を増やし、オーストラリア、ニュージーランドおよび英国以外の新たな市場に拡大するというものだ。

継続的な成長という目標のために、Kathmandu社では、世界規模のサポートを提供し、規模の拡大・縮小を可能にするテクノロジープラットフォームが必要だった。新規市場へ参入するにあたっては、実データのコピーを使用してテスト環境を短期間に立ち上げることが可能な高可用性システムによって事業のリスクを低減したかったという。

さらに、Kathmandu社では多数のプロジェクトを同時に実行することも多い。ハードウェアの制約によってプロジェクトの実施が遅れてはならず、ストレージやネットワークにも高い可用性が求められた。

Kathmandu社は、自社のコアアプリケーションに適切なデータストレージを提供し、将来のソリューションを迅速、かつ容易に実施することが可能となるクラウドインフラを検討し始めた。

ディメンションデータの パブリックCaaSを採用

ディメンションデータは、Kathmandu社による情報提供の依頼に応え、自社のパブリックCompute-as-a-Service (CaaS) の提供による先進的なクラウドサー

“当社には野心的な目標があります。すなわち、人々の冒険心を呼び起こして、自由自在に探検し、この広大な世界を発見してもらうというものです。当社のERPおよびCRMシステムによって当社のビジネスは進められていますが、これらのシステムの性能はベースとなっているインフラによって制限されています。ディメンションデータによって当社のインフラにおける制約から開放されたと言えます”

kathmandu社

最高情報責任者(CIO) グラント・テイラー氏

ビジネスインフラを提案。ディメンションデータのパブリックCaaSを利用することにより、ビジネスアプリケーションを迅速に展開できるようになり、ビジネス上の決定をほぼ瞬時に実行することが可能となる。

パブリックCaaSは、ディメンションデータのクラウドサービスポートフォリオの一部である。Pay-As-You-Grow(成長に合わせた投資)モデルで、Kathmandu社の要件に応じてスケーラブルなサーバストレージ、およびネットワーク要素を含み、安全で隔離された環境を提供する。

また、料金体系は従量課金制で、オンデマンドのセルフサービスによる仮想サーバ、ストレージやネットワークの管理ができる。

さらに、ディメンションデータが持つ、香港、米国、オランダ、オーストラリア、日本および南アフリカの計7カ所すべてのマネージドクラウドプラットフォーム(MCP)を利用して、クラウドサービスおよびサポートについて心配することなく世界中の新たな場所に進出することが可能となる。

拡張性高い継続的な成長を支援するプラットフォームを実現

ディメンションデータのクラウドサービスインフラは、Kathmandu社の継続的な成長という目標達成を支援している。Kathmandu社は、世界13カ所のMCP

上で自社のネットワークやサーバ、ストレージを設定することができて、ITインフラまたは容量の制約について気にすることなく、自社システムを拡大することができるようになった。例えば、高額な費用を負担することなく、ディメンションデータのクラウドプラットフォーム上で自社のERPアプリケーションを迅速に展開することができる。在庫管理者は適切な時期に適正なツールを利用することが可能だ。これにより、在庫リストの効率的な管理が可能となり、各店舗が年間を通じて顧客に対して十分な在庫を確保することが保証されるようになる。

さらに、ストレージ容量の制約がなくなり、高性能な環境を得たことによって、実データのコピーを使用してテスト環境を短期間に立ち上げることも可能となった。テイラー氏は、「テスト環境を数分間で立ち上げることが可能で、遅れや容量についての不安は一切ありません。テストが完了すれば環境を消すことができ、使用した分の容量に対してのみ支払いが発生します。これにより、テスト方法に関する私たちの考え方は完全に変わりました」と語る。

また、Kathmandu社では追加のプロジェクトが進行中であり、新たなアプリケーションが展開されるにつれて、パブリッククラウドインフラは成長し続けている。

導入のポイント



容量を心配することなく自社システムを拡大可能



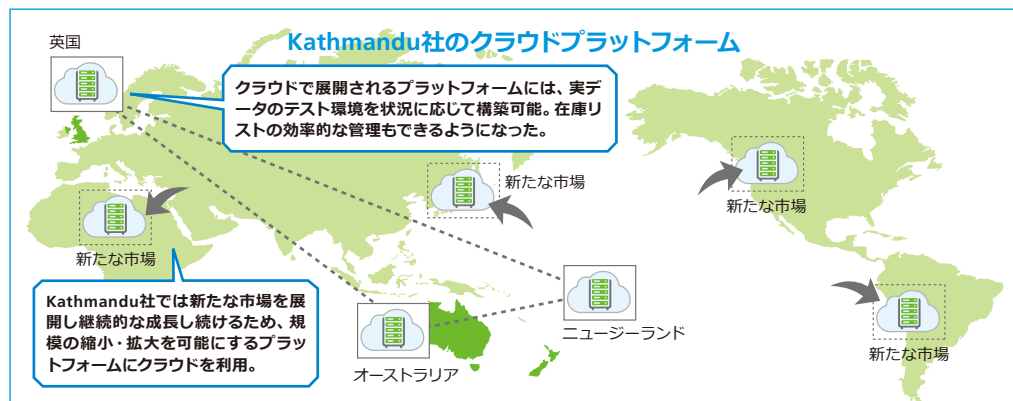
世界規模のサポート



従量課金制の料金体系



迅速なビジネスアプリケーションの展開



お問い合わせ



株式会社ディメンションデータジャパン
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル6階
www.dimensiondata.com/jp
email:info.jp@dimensiondata.com

ディメンションデータのクラウドサービスサイト www.nextcloud.jp